



共生の里だより

Vol. 1
令和4年8月1日発行

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字関町後 187 番 4 TEL: 018-828-1125 FAX: 018-828-1126
発行者 社会福祉法人 秋田福祉協会 介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 共生の里



障がいのある人も
ない人も共に生かされる



入居者様の声

S様 (78歳)

食事制限があるのですが、管理栄養士さんが好みや味付け、固さなど細かく気を配ってくれるので安心して食べられます。

M様 (91歳)

色々な人と話しができて楽しい。共同生活室に来ると必ず誰かいてくれるので安心して生活できる。

T様 (77歳)

毎日おいしいおやつとお昼ご飯に味噌ラーメンが食べられる。一人でゆっくり入れるお風呂が一番の楽しみです。

Y様 (77歳)

私は開設より入居しています。職員のみなさんがとても優しく、新しい友達も出来、楽しく過ごしています。辛い物が苦手ですが、キャッスルホテルの食事やおやつを美味しく頂いています。

夏まつり

お好み焼、フランクフルト、かき氷を食べました。お祭りは大盛況でした。



編集後記

表紙写真(左上)はご利用者の石崎様(九十八歳)ですが、発行直前に急逝されました。ご遺族様の了解のもと掲載いたしました。ご冥福をお祈りいたします。
「共生の里だより」一号を発行するにあたり、原稿を寄せてくださった皆様により御礼申し上げます。新型コロナウイルスでの巣ごもりに加え、日に日に暑さが増し熱中症で搬送されている方が増えているようです。皆様も体調管理には十分にお気をつけください。
(佐藤・菅原・田中・渡辺・山口)

今後の行事予定

- 8月 ● 雄物川花火大会鑑賞
- 9月 ● 敬老会
- 12月 ● クリスマス会
- 1月 ● 初詣
- 2月 ● 節分 豆まき



社会福祉法人 秋田福祉協会
特別養護老人ホーム 共生の里 施設長

保坂 兼晃



石井 周悦

障がいのある人もない人も
『共に生きる』

青く澄んだ日本海を眼下に、遠く男鹿半島を見渡せる新屋地区西側の小高い丘にオープンして早2年。「共生の里」は、高齢者や知的障がいのある方々、透析治療が必要な方を分け隔てなく受け入れる施設として、高齢化社会において地域の重要な役割を担っている。

数年前、売りに出していた空き地を穂積市長を通して瀬田川理事長に情報提供し、現在に至っていることはとても感慨深い。私が幼少の頃、この周辺には秋田・栗田養護学校や太平洋療育園が位置し、今でも栗田支援学校や民間のオリーブ園があり、また、秋田公立美大でも「障がい×アート」をキーワードにした取り組みが高まりつつあり、この地域全体が長年にわたり障がいのある方々とともに歩んできた地域である。敷地には多数の太陽光パネルが設置され、温室効果ガスの排出抑制により地球温暖化防止に寄与するとともに、秋田市と福祉避難所の開設協定を締結し、災害時におけるエネルギー供給機能の発揮と地域の避難所機能としての役割を果たすことが期待されており、地域社会への貢献は計り知れなく大きい。

日課の、毎朝1時間のウォーキングの最終盤、坂を上がって疲れた体が、道路端にある色とりどりの「共生の里かたん」に癒され、大きな力となって私の一日が始まる。私が生まれ育った今は無き「石井牛乳搾取所」は、ここから目と鼻の先にあり、共生社会の実現を牽引してきたこの地に住んでいることを誇りに思っている。
『共生の里』の今後益々のご繁栄を心から願っている。
(秋田公立美術大学副理事長、新屋栗田町住)



瀬田川 榮一

社会福祉法人秋田福祉協会・理事長

皆さんのお仲間に加えて下さい。

縁あって新屋に来て二年十カ月がたちました。これからは少しでも皆様に喜ばれる施設になるよう努力します。どうぞご支援ご指導ください。よろしくお願いいたします。まずは施設内に桜やつつじなどの花が咲く樹木を植えることから始めました。コロナウイルス感染を徹底する中で、地域の方々とイベントを一緒にやりたいものです。施設の前に約六十mの地域交流スペースがあります。使用料は無料です。どうぞご利用下さい。どこまでも優しく願っています。



令和三年十一月に秋田青少年・障害者問題調査研究所を発定いたしました。青少年・障がいのある方々の「生きづらさ」等を調査・研究し、その研究成果を行政や関係機関、民間団体、施設などに提供し、施策改善や支援の在り方などに幅広く役立てる事を目的としています。

皆様のご厚意に応え、青少年と障がいのある方々の生活の向上に資するよう活動してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

秋田青少年・障害者問題調査研究所

調査研究所が発足

若者、障害者が直面する課題を分析し、調査・研究を通じて、社会課題の解決に貢献する。秋田県立総合文化センター（旧県庁）内に、秋田青少年・障害者問題調査研究所が発足しました。調査・研究の場として、関係機関、民間団体、施設などに提供し、施策改善や支援の在り方などに幅広く役立てる事を目的としています。

※2021年12月7日さきがけ新聞に掲載されました。



私と小鳥と鈴と

いちかわ内科クリニック 医院長(嘱託医)

市川 喜一

私が両手をひろげても、お空はちつとも飛べないが、飛べる小鳥は私のやうに、地面(じべた)を速くは走れない。私がかうだをゆすつても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のやうに、たくさんな唄は知らないよ。鈴と、小鳥と、それから私、みんながつて、みんない。

金子みすゞ

格差が拡大し、不寛容化が進行し続ける世知辛いこの世を、それでも頑張って生きてこられた入所者の皆さん、どうか「共生の里」でこの詩のような日々を過ごせますように。これが私の切なる願いです。

行事の様子

入居者が季節を感じていただけるような行事を行っております。他にもユニットごとにお誕生日会やレクリエーション等を企画し、入居者様に楽しんでいただいております。



利用者様と一緒に
お花を植えました!!



七夕



ひなまつり



運動会



魚釣り



お花見

行事食のご紹介



3/2 ひな祭りご膳



5/4 こどもの日弁当



ユニットに誕生日の方がいると
誕生日ケーキが出ます。

(食事は秋田キャッスルホテルに委託しております。)

地域交流スペース

特別養護老人ホーム共生の里では、地域の皆様のために地域交流スペースを開放しております。台所やトイレ等も完備されており、クラブ活動や趣味活動、発表の場など、地域の皆様の交流の場としてご自由にお使いいただけます。ぜひご活用下さい。

※詳しい詳細をお知りになりたい場合は共生の里事務局へお電話下さい。



町内と合同でイベントを

社会福祉法人 秋田福祉協会 評議員

阿部 民樹

例えば令和元年の準備室の頃から町内会として、また一人として大変お世話になり、今日に至っております。

当時からみれば施設的面々も大変変わった様ですが、共生の里の様な大規模な施設が当町内に来てくれる事だけで非常に心強く思ったものです。何時迄も当町内に居てくれるだけでありがたいです。

コロナが終息した暁には、合同でイベントのよなものが出来ればと願っております。その時はよろしくお願い致します。



食事のサンプルを提示したら

社会福祉法人 秋田福祉協会 理事

高橋 峰子

ももさだ海岸からほど近い新屋関町後町の高台にある「共生の里」は障がいのある人も、ない人も共に生きることを基本理念として発足した特別養護老人施設です。

様々な職種の方々が日夜責任ある立場に置いて頑張っておられる姿には頭が下がる思いです。

特に利用者の皆様のお住まいでもある各ユニット名が、新屋に関連する「日本海」「雄物川」「新屋」「栗田」「大森山」など、なじみの深いネーミングとなっており、地域を大切にしている心、そして利用者様の皆さんも親しみのある、安心できるユニット名を気に入っておられるのではないかと思います。今はコロナ禍で実現できない事もあるようですが、近隣町内へも声をかけて夏祭りなど色々な行事へのお誘いをすると、多くの人に参加してもらえないでしょうか。施設で提供されている毎日の食事内容や行事食、おやつ等をサンプル展示して頂くことが写真展示をする事で、利用者の家族、入所を希望される皆さんにとっても興味を引く対象として大きいのではないかと思います。地域に開かれ、地域に根差した「共生の里」をめざしていけることを願っております。